

# Sankka

讃歌  
春号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 松井院長に聞きました。

スタッフの働きに

感謝するとともに、

皆としっかり手を携えて、

地域の皆さんに頼りにされる病院を目指します。

◎特集② 山木名誉院長に聞きました。

いままでも、これからも

京都九条病院と歩み続けていきます。

○京都九条病院、新任医師の紹介

○医療法人同仁会(社団)

平成31年度 入職式

◎コミュニケーション広場

○知つてよかった「お薬豆知識」講座(第28講目)

○暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座(第37講目)

○ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第51弾)

○私の病院自慢あれこれ(第51回)

◎院内散策(43)

○2018年度 看護研究発表会



院長 松井淳琪



名誉院長 山木垂水

vol.51  
2019 Spring  
春号

松井院長に聞きました。

スタッフの働きに感謝するとともに、皆としっかり手を携えて、地域の皆さんに頼りにされる病院を目指します。

本年4月1日に医療法人同仁会(社団)

京都九条病院の新任院長に就任された

松井淳琪院長に、就任に当たつての抱負を伺いました。



Junki Matsui

京都九条病院 院長 松井 淳琪

—— 副院長として永く京都九条病院を見てこられました。院長に就任されてから、気持ち的に何か変化はありましたか？

**院長** 自分でも驚くくらいモチベーションが上がって張り切っています。平成7年から20数年間、山木垂水前院長と一緒に常に改革を行ってきたのですが、もともと病院を良くしたいという気持ちに、今、突き動かされています。

—— 院長として改めて見た京都九条病院は、どのように映りましたか。

**院長** 各セクション全てに素晴らしい人材がいることに改めて気づき、すごく嬉しく感激しています。場所、場所ですべて優秀、有能な人はもちろんですが、細かな気遣いで患者さんの心を和らげる人、優れたコミュニケーションで皆の関係を繋ぐ人、明るく人柄で病棟の雰囲気盛り上げる人、それぞれが持ち味を生かしてイキイキ、ポジティブに働いている。そういう素晴らしい人に支えられて京都九条病院が成り立っているんだというところを実感し、皆に感謝の気持ちでいっぱいです。

これまでも皆が頑張っていること

は当然知っていましたが、麻酔科医として手術室に籠っている時間も多く、手術室の外で皆と一緒に仕事をすることは少なかったんですが、病院全体の仕事により関わるようになって、忙しい中でも一人ひとりが細かなところまでそれぞれの責任を果たしてくれているところを目の当たりにし、「なんて頼もしいんだらう！安心して任せられる！」と信頼感が強まりましたし、やはり人が大事なんだと再認識しました。

職員を大切にすれば、それが患者さんにも反映されます。働く人を大切に、職場環境を良くするというのは、これまでも取り組んできたことですが、もともと大切にしたいという気持ちが溢れるほど湧いてきています。

—— 話を聞くほどにイキイキとしたスタッフに恵まれる喜びが伝わってきて、嬉しい気持ちになります。では、これからのビジョンについてお聞かせください。

**院長** そうですね、ビジョンとしては大きく二つあります。まず一つ目として、「救急医療、高度医療の充実」にさらに取り組んでいきたいと考えています。

—— と言いますと。

**院長** 「救急医療、高度医療の充実」とは、「近くにあつて気軽に受診できる高度医療に対応した病院」、「24時間頼りになる病院」でありたいということです。

今、医療の分業化が定着してきて、専門的な治療を受けるなら大学病院や総合医療センターといった大きな施設へ行かないと不安だ！という声もあるようですが、当院は近くにあつて気軽に受診ができ、さらに高度な治療が受けられる病院を目指しています。また、救急の分野でも、24時間地域の皆さんに頼りにしてもらえ、病院でやりたい、その姿勢を保っていきたいと思っています。

—— 利用する側としては、とても頼もしいと感じますね。

**院長** ありがとうございます。では二つ目ですが、「より地域医療を大切に」していくことです。

これまでも当院は、地域の医療に関わる方々と密度の濃い繋がりを持つて、様々な地域医療に関わってきました。その中でも、地域の高齢者の方々の切れ目のない医療体制で支える「在宅療養あんしん病院」システムが稼働し、うまく回り

## OUR HOSPITAL CONCEPT

## 京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。

さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す  
前向きな姿勢を持ち続けます。

## OUR HOSPITAL POLICY

## 京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとそのご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

## 「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

れています。

三つ目は、「予防活動」に力を入れていきます。

また、介護事業部の統括医師として活動してくれている西村医師が、地域医療を発展させる上で大きな推進力になっており、これまで以上に地域医療・介護事業を充実させようという意気が上がっています。

始めています。

これは、京都地域包括ケア推進機構が進める制度で、登録された高齢者の方の詳しい情報を事前に把握しておくことで、スムーズに入院治療を受けられるシステムです。今後は、地域の方々と多職種のス

始めています。

健康診断や人間ドックを受け

ていただく方もどんどん増えていきますし、以前から行っているスポーツ団体への予防活動もますます盛んになっていきますので、なお一層全力でやっていきたいと考えています。

—— 院内での各科の意気込みや取組みについても、ぜひお聞かせください。

**院長** 今、各科ともに様々な取り組みをより積極的に進めようとしていて、病院全体に活気が溢れているんですよ。

救急科では、院長職を離れられた山本名誉院長が救急科を中心に医療活動に力を注ぐこととなり、これまで以上に充実した活動ができるようになったと、脳神経

外科では、最新の脳血管内治療に取り組み、地域の脳神経外科救急医療を牽引してきましたが、さらに現在、脳卒中センターとしてチーム医療体制を確立し、より充実した治療を提供しようと張り切っています。

この4月から新たに大久保医師を迎えた整形外科では、今後も新しい医師を迎える予定で、人が集まってくるこの時を機に救急や地域医療をこれまで以上に充実させ、かつ専門性の高い治療を行うというとしています。

循環器内科にも新しく石戸医師を迎えました。もともとは非常勤で当院に勤務されており、循環器内科の診療はますます充実しています。

様々なチーム医療を導入・推進している消化器外科は、大きな成果を出し続けていますが、さらに、これまでの取組みを発展させ、合同カンファレンスを充実させ、術前術後の準備をより丁寧にしようと動き出していますし、消化器内科は、優秀な先生たちがさらに目覚ましい成果を挙げていて、検査・手術も着実に実績を積んでいます。

麻酔科は私が中心として統括していますが、大学等からの紹介で専門医・指導医以上の資格を持つ優秀な医師が手伝いに来てくださっています。中規模病院で、これだけの麻酔医が揃っているところは少ないでしょうし、だからこそ24時間、救急手術に対応していけると自負しています。

—— 様々なお話ありがとうございます。最後に一言皆さんにメッセージをお願いいたします。

**院長** 私たちは、これからも、患者さんから信頼され、頼りにされる病院を目指し、地域の皆さんに安心して暮らしてもらえよう、全職員一丸となって更なる努力をしていきます。



特集

2

山木名誉院長に聞きました。



京都九条病院  
名誉院長  
山木 垂水

いままでも、これからも  
京都九条病院と  
歩み続けていきます。

これまで20年余にわたり院長としてよりよい病院づくりを目指し、松井道宣理事長をはじめ全職員の皆さんに支えられてさまざまな改善を行い、医療サービスの向上に取り組んできました。

「機能評価」の認定制度を導入したのもその一つです。ゼロからいろんなものを作っていくかなければならず本当に苦労しましたが、認定評価を受けるたびに医療安全や医療倫理、感染対策等々様々な点が改善されていきました。

たので、それだけの成果もありました。

これからも、今までと同様に地域医療の根幹である救急医療をはじめ病院の仕事に携わって参りますが、このたび体制としての若返りを図りたいと院長を交代いたしました。もつと病院のクオリティを上げ、もつと地域の皆さんに貢献できるように思っていますし、きつとそうなると思っています。

以前から、いずれは次に引き継ぐと準備をしてきたのですが、元号が変わった今が一つの機会ではないかと考えました。この「令和」という新元号は「万葉集」を典拠として制定されたそうです。私の名前の「垂水」も、同じく「万葉集」の中の「石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも」という志貴皇子の歌の文言を引用して父がつけてくれたもので、新元号とのご縁を感じて嬉しく思うとともに、新しい時代にふさわしい病院作りに貢献していきたいと思いを新たにしております。医療と共に、もう一つ私が長年、情熱を傾けてきたものがホルン

です。中学生1年の時に始めたのもう60年になります。今も京都シンフォニカに所属して毎週練習に通い、年2回行う定期演奏会の舞台上で演奏しています。

また、脳外科医のオーケストラにも参加し、国内外の学会などで演奏会を行ってきました。アマチュアの演奏家でも、金管楽器をこれだけ長く続けている人はそんなに多くはないのではないかと思います。これからもホルンを吹き続けていきたいと思っていますし、もちろん院内コンサート

ここにいるのが私。



も「アンサンブル・クロージャー」のメンバーと共に続けていくつもりです。どうぞ、次回もご期待ください。



京都シンフォニカのメンバーの方々と一緒に。

今号で「讃歌」の表紙に登場するのは最後となりますので、その表紙写真についての裏話を一つ。私が毎回、違うネクタイをしていたことに気が付かれましたか。撮影のたびに新しく買い求めてきて、その数はなんと51本に！いえいえ、実は一回だけ同じネクタイを使ったことがあったので計50本です。

これからも職員の皆さんと手を携えて京都九条病院のさらなる発展を進めるとともに、地域の皆さんによりよい医療サービスが提供できるよう力を尽くしていく所存です。

## 京都九条病院、新任医師の紹介

平成31年4月より、京都九条病院に着任しました  
新任医師2名をご紹介します。



整形外科  
大久保 敦

整形外科専門医として、外来診療を行い、骨折などの急性期の外傷性疾患を中心に治療・手術を行っています。京都九条病院での地域医療・急性期医療に貢献できるよう診療にあたりておりますので、お困りの際は外来を受診していただければと思います。

【資格・所属】

◎日本整形外科学会専門医



循環器内科  
石戸 隆裕

専門の冠動脈疾患を中心にさまざまな心臓病から生活習慣病まで幅広く治療を行っています。また、心血管センターのチームの一員として心筋梗塞、急性心不全、血栓塞栓症などの緊急を要する疾患に24時間体制で対応しています。外来での診療もしていますので、気になることがあれば何でも気軽に相談してください。

【資格・所属】

◎日本内科学会 認定内科医および総合内科専門医／◎日本循環器学会 循環器専門医／◎日本心血管インターベンション治療学会 認定医



平成31年4月1日、京都東急ホテルに於いて、医療法人同仁会(社団)の平成31年度入職式を行いました。京都九条病院は、新しいスタッフを迎えて、地域の中核病院としてさらなる充実を図るとともに、地域の皆様の健康を守る活動にこれからも積極的に取り組んでいきます。

## 平成31年度 入職式

医療法人同仁会(社団)



# MEDICINE for HEALTH

知ってよかった「お薬豆知識」講座

講師・京都九条病院 薬剤部  
副部長 薬剤師  
國永 智昭  
Tomoaki Kuninaga

## 様々な場面で使われる 「お薬手帳」の 活用ポイントをご紹介します!



「お薬手帳は持っていますか?」というお馴染みのフレーズ。診察室や薬局の窓口、入院時などに尋ねられることが多いですよね。中には、もう聞き飽きたという人もいます。安全にお薬を飲むために欠かせないお薬手帳ですが、自宅に置いておき、内容に不備があったりとうまく活用できていないケースもあります。

今回は、「なぜ、お薬手帳が必要なのか」3つの場面を解説しますね。

1つ目は入院時です。当院では「入院前」にどのような薬を飲まれているのか「お薬手帳」を用いて薬剤師が服薬状況を把握しています。入院中の安全な薬物療法のために欠かせない業務の一つです。薬効がよく似た薬をダブって飲んでいたり、一緒に飲むとマズイ組み合わせがあったり。また、薬剤性といつて入院の契機となった病



状が飲んでいた薬が原因でことも。それに気づかないと入院中の治療に悪影響を与える可能性があります。お薬手帳はこうした事態を是正するために活用することができます。

2つ目は手術前。手術が決まると、薬剤師が患者さんのもとに伺うことがあります。何をしているのか?というところ、「手術前に休薬すべき薬剤がないか」を一念にチェックしているのです。例えば血液をサラサラにする薬。手術中に大量出血が起こらないように事前の確認が必須ですね。また、ほかに中止が望ましい薬がいくつかあります。このような術前チェックは

手術を安全に受けて頂くために必要な確認業務の一つ。お薬手帳があれば確実にスムーズに行うことができます。

3つ目は退院時です。「退院薬の内容が書かれたシールを貼るだけでしょ」と思われた人。確かにそうなんです。でも、それだけではありません。退院後も安心して服薬を続けるために必要な情報も記載されています。たとえば、入院中に出現した副作用やアレルギーのこと、一包化や粉砕など調剤の方法。ほかにも、かかりつけ医や調剤薬局の薬剤師に、入院中の薬物療法に関する情報を引き継ぐためのツールとして活用しているのです。

このように、安心、安全な薬物療法を行うために欠かせないお薬手帳。活用できる場面は多岐にわたります。医療機関を受診する際にはどうか、お薬手帳を持参してくださいね。

# NURSING for HEALTH

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座

京都九条病院  
訪問看護ステーション・ママ

## 【足の指・爪の話】 歩けなくなる原因は 筋力低下だけではないのです!!

厚生労働省は平成15年から介護予防として「足指・爪のケアに関する事業」を盛り込み、高齢者やその家族に足指や爪のケアの重要性と適切なケアの方法を普及するとしています。

特に高齢になると、目が見えにくくなることから自分で足の爪切りができない方が増えます。私たち訪問看護の現場でも毎日のように、足の爪切りを行っています。

爪はケラチンというタンパク質の一種でできています。足の爪の役割は、生活に不可欠なのをご存知ですか?足の爪は、歩くときに重要な役割を果たします。足を上げる直前、必ず爪先が地面を蹴っています。この時、体重の3分の2は踵で、3分の1は足先で支えているのです。

このように足指で地面を踏みしめた時に、爪があるから上に逃げてしまう力を押

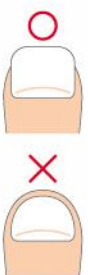


さえつけることができます。これによって歩いたり走ったり、バランスを取ったりすることができます。また、体の体重を支え立つという動作そのものを爪が助けています。

さらに、爪は指先を保護する役割も担っています。体の先端にある部位を、他の皮膚よりも硬い爪が保護してくれています。このように爪は人間が生活するうえでまさに「なくてはならない」大切な存在なのです。

もし足の爪がなかったら? 指先に力が入らなくなり、

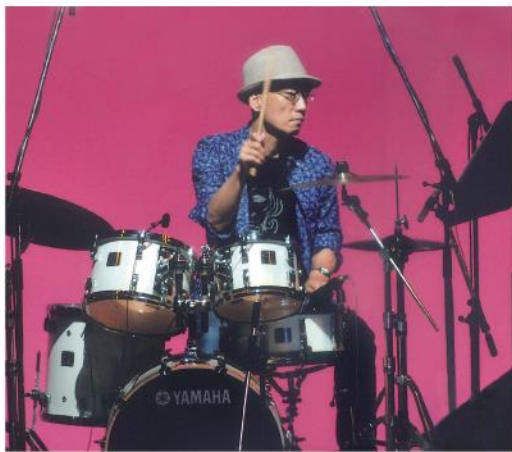
「立つ」「歩く」という動作の要である足をいたわってあげましょう。



「足の爪は四角く切る」

まわりに力がからなくなってしまう。指に力が入らないために、長時間歩くことも困難となり、日常生活に支障がでるようになります。歩けなくなる原因は、実は筋力低下だけではないのです。爪が厚くなったり、深爪していたり、爪が病気があったりしていませんか?





音楽教室のメンバーとバンドを組んだ演奏会の一コマ。演奏中は曲のことだけ！もつ夢中でドラムを叩いていますね。

ドラムを叩けば  
気分も爽快!!  
音楽から新しい世界が  
広がる楽しさ。

FACE  
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ⑩

京都九条病院 糖尿病内科部長  
江端 一彦  
Kazubiko Ebata



糖尿病と人工透析を中心に治療を行っています。糖尿病や腎不全になってしまうと長い治療が必要となりますが、どちらも早めに治療すれば深刻化するのを防ぐことができます。ぜひ定期的に検診を受け、少しでも兆候があれば放置しないで受診してください。

もともと好きだった音楽をやりたいと、教室に通いドラムを始めてもう5年半になります。当初、昔習ったクラシックギターに再チャレンジしたものの、思うように指が動かず早々に断念。そこで、単純に叩くのならとドラムに転向したのですが、やればやるほど奥が深くはまってしまいました。

実は、ドラムにはさまざまな効用があるんです。まず思い切り叩くのでストレス発散になるし、手足を動かすのに柔軟性や筋力が必要だからとフィット

ネスにも励むようになりました。さらに、音楽仲間との付き合いようになってファッションにも気を使うようになり、気持ちも若々しくなったような気がします。半年に一回は同じ音楽教室のメンバーと演奏を披露しています。演奏するのは主にポップスやロック。ビートルズやクイーンといった往年の名曲はもちろん、椎名林檎とかテイラー・スウィフトといった最近の曲も。おかげで、それまで知らなかったさまざまな楽曲を聞く機会が増え、音楽の幅も広がりましたし、何より年齢も職業もまちまちな人たちと一緒に練習するのが新鮮で、音楽を通して世界が広がったように思います。いずれ同好の士を募ってバンドを組み、いろんな施設でライブ演奏ができればと考えています。

LOVE  
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ⑩

病院のことが好き!!  
こんなところがわたしたちの自慢です。

好きな言葉  
favorite word  
「チャレンジ」  
川勝 香織  
看護部 2階病棟ICU



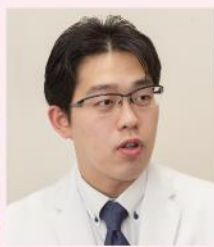
1年目から実際に経験を積ませてもらえるのがありがたいです。頼もしい先輩のサポートのもと、少しずつ実践技術も身についてきました。せっかく急性期病院に勤めたのだから、最前線の現場に立って勉強したいとICUを志願したのですが、責任の重さと緊張感は並大抵ではなく、改めて「看護師ってすごい仕事だな」と感じています。もっともっと勉強を重ねて、まず先輩方と肩を並べられるくらいの力をつけ、いずれは患者さんに信頼されるような看護師になるのが目標です。

好きな言葉  
favorite word  
「遊び心」  
坂本 淳史  
リハビリテーション部  
理学療法士



スタッフ同士の仲が良いところ。リハビリテーション部は若い人も多くて活気もあるので、楽しく働いています。今、担当しているのは入院患者さんがご自宅に帰られる準備をサポートする地域包括ケア病棟。患者さんの住環境に合わせてリハビリを提供するのですが、場合によっては、玄関にスロープを付けるといった環境を変えてもらう提案をすることも。心がけているのは、楽しいリハビリ。笑顔になって帰ってもらえるよう、いろんな工夫をしていきたいと思っています。

好きな言葉  
favorite word  
「誰かことでの助けであること」  
井關 湧哉  
事務部 医事課



患者さん一人ひとりの顔が見える関係がいいですね。患者さんとスタッフが打ち解けた様子でやり取りしているのを見ると、ほんとうに地域に密着した病院なんだと感じます。「困っている人の助けがしたい」と医療の世界に転職してきた私。受付業務など患者さんに接する仕事ができ、やりがいを感じています。患者さんが、入社してまだ日が浅い私に声をかけてくださるのも、大きな励み。まだまだ駆け出しですが、早く患者さんの役に立つスタッフになりたいと思っています。

好きな言葉  
favorite word  
「一生懸命」  
興梠 春佳  
検査部 臨床工学技士



臨床工学課のスタッフのうち女性は私一人なのですが、性別に関係なく同等に扱ってもらえるのでとても働きやすいです。入社して半年。人工透析と医療機器管理を受け持ち、学んでいる最中です。2つの仕事を同時に覚えるのは大変ですが、これも期待されているからと張り切っています。患者さんからも、「新人、頑張れ」と逆に励まされているんですよ。透析では患者さんの方が先輩なので、皆さんの意見を尊重し、敬意を持って接するよう心がけています。



院内散策  
さんざん

# 『2018年度 看護研究発表会』

主催 京都九条病院

京都九条病院の看護師は、看護の質の向上とさらなる医療サービスの充実を目的として様々な研究に取り組み、またそうした研究の成果を広く生かせるよう研究発表会を毎年開催しています。

今年度は2019年2月15日と3月16日に開催しました。第1回目の発表会では、当院の看護師が、以下の6つのテーマで研究発表を行いました。

- ◎ 個別性のあるポジショニングをスタッフ間で統一する方法
- ◎ 看護サマリー必要事項の検討
- ◎ 急性期病棟から地域包括ケア病棟への転床時に求められる情報
- ◎ 術後高齢患者の早期離床の阻害因子・促進因子とその看護
- ◎ アロママッサージによる癌患者の疼痛、倦怠感に対する有効性の検討
- ◎ 独居の認知症高齢者への退院支援
- ◎ ADL全介助の患者に対するギャッジアップ角度による褥瘡リスクの検討とエアマットを使用し、また翌月の第2回目では、以下のテーマで意見を交しました。
- ◎ 軽症脳梗塞患者への多理論統合モデルに基づく行動変容を促す介入による生活習慣の改善の効果
- ◎ 高齢者のスキンテアの発生要因と予防方法の検討
- ◎ 深部静脈血栓予防のためのパンフレットを用いた指導の効果
- ◎ 急性疼痛コントロールが必要な患者に対して、生活のしやすさに関する質問表を用いた効果
- ◎ リハビリテーションとの共同作業による退院支援の効果



これらの研究内容はスタッフが直面している課題について、先行研究でのエビデンスに基づきまとめたものや、実際の研究成果を集成したもので、発表会には、看護部だけでなくリハビリテーション部など他職種のスタッフも多く参加し、研究成果の共有を図るとともに、医療ケア・サポートの質の向上に繋がっています。

これら当院の看護研究は、毎年様々な学会で採択され、学会の論文集に掲載されています。私たちは、患者さんお一人おひとりを大切にされた安全で安心な看護を目指して、これからも自己研鑽に努めてまいります。

## 医療法人同仁会(社団) 京都九条病院

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団) <b>介護老人保健施設 マムフローラ</b> 〒617-0853 京都市長岡京市奥海印寺奥/院25-2 TEL 075-958-3388(代)	医療法人同仁会(社団) <b>介護老人保健施設 マムクオーレ</b> 〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3 TEL 075-691-7755(代)	医療法人同仁会(社団) <b>介護老人保健施設 マムクオーレII</b> 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38 TEL 075-694-6655(代)
医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 <b>訪問看護ステーション・マム</b> 〒601-8454 京都市南区唐橋羅城門町16 TEL 075-661-3820(代)	医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 <b>訪問リハビリテーション</b> 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-694-6644(代)	医療法人同仁会(社団) <b>ヘルパーステーション マム</b> 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内2階 TEL 075-694-6622(代)
京都市唐橋地域包括支援センター 京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内1階 TEL 075-694-6222(代)	医療法人同仁会(社団) <b>居宅介護支援マムステーション</b> 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内2階 TEL 075-694-6699(代)	医療法人同仁会(社団) <b>ショートステイ マム</b> 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-691-7667(代)
医療法人同仁会(社団) <b>同仁会クリニック</b> 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-7766(代)	医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設) <b>同仁会疾病予防研究所</b> 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-5070(代)	医療法人社団 京健会 <b>西京病院</b> 〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町39-1 TEL 075-313-0721(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)  
**メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN**  
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 0120-558-756